

長坂谷公園 汗かき通信



★ vol.18 カシノナガキクイムシから公園の樹木を守ろう ★



こんにちは。先月まではすっかり残暑が厳しく、いつになったら涼しくなって秋になるの？と日々思っていました。ここ最近、涼しいを通り越して寒いと思う気候になってしまいました。公園内の木々も徐々に紅葉し始め、一部では落葉し始めています。草刈シーズンが終わったと思えばあっという間に落ち葉かきシーズンに突入です。これからますます寒くなると思うと覚悟が必要です。さて、今回の汗かき通信では、全国的に蔓延しているナラ枯れについて、公園の取り組みについて紹介したいと思います。

～ナラ枯れってなんだろう～

長坂谷公園では最近、紅葉が始まりました。ケヤキをはじめ、サクラ、モミジ等、徐々に季節は冬に向かっていきます。中でもクヌギ、コナラ、ミズナラなどは地面にドングリを落とし始め、季節の移り変わりを感じます。そのドングリの実がなる木々に異変が起きています。



ナラ枯れ (中央部)

長坂谷公園では、昨年より一部の樹木(コナラ、ミズナラ)にナラ枯れが発生しています。本来、夏場などの生育期には葉が青々としています。ところが、葉が茶色く枯れてしまっています。木の根元を見てみるとフラスと呼ばれる木のクズが発生しているのが分かります。これらの現象はナラ枯れの特徴でもあります。



フラスの発生

そもそもナラ枯れってなんなの？と疑問を持つ方も多と思います。

簡単に説明をすると、ナラ枯れとは、樹幹にカシノナガキクイムシという甲虫が多量の穿孔をとめない樹木を枯らす現象のことです。樹木が枯れる直接の原因はカシノナガキクイムシが持つ菌類で、他の樹木(シイ、カシ、ナラ類)に移っていくことで被害がどんどんと拡大する「樹木の伝染病」と言われています。

かつての日本の山林は、春先に木々を伐採し、新たに芽を吹かせる「萌芽更新」を行い、樹勢の回復を行っていました。樹勢を回復せ、木々を若返らせることでカシノナガキクイムシを防ぐことができていました。ところが、近年では山林を管理する人手が少なくなり、「萌芽更新」をされない山林が目立ってきたことも影響し、全国的にナラ枯れが発生し、問題となっています。



カシノナガキクイムシの成虫

Σ-1 土壌改良剤

公園内で発生してしまったナラ枯れは、伐採を行っています。これ以上被害を拡大させないために、伐採の時期も決まっています。カシノナガキクイムシの活動が鈍くなる冬場に伐採を行います。伐採した枝や幹は幼虫や成虫が幹に残っている可能性があるため、処分場へ持っていき適切に処理してもらいます。これもほかの地域へ被害の拡大を防ぐための大切なことです。

その他に公園では、樹木の強剪定を実施したり、Σ-1という土壌改良剤を用いて樹木の樹勢回復に努めています。そして、次世代につなぐためにドングリから実生苗を育成し、将来的に補植を行おうと考えています。中々被害を防ぐことは難しいとされていますが、公園管理者としてこれからも身近にできることから一歩ずつ行い、ナラ枯れの被害拡大を少しでも防げるよう努めていきます。

～犬の放し飼い(ノーリード)は禁止です～

以前、こちらの汗かき通信でも書きましたが、最近、犬の放し飼い(ノーリード)での散歩やリードを長くして散歩をしている方が目立ちます。犬同士でのトラブルや小さいお子さんが恐怖心を感じることもありますので公園を利用する際は、**必ず制御ができる長さのリードを付けて散歩**をしていただきますようご協力をお願いいたします。公園はドッグランではありません。



★今後のイベント予定★



- ★開催中★ ハロウィンぬりえコンテスト
- 10月31日(日) 自然観察会 (申込不要)
- 11月13日(土) 犬のしつけ方教室(緑区衛生課にて要申込)
- 11月14日(日) さわやかスポーツタイム

※新型コロナウイルス感染拡大によりイベントが中止となる場合がございます。詳しいイベントの日程、詳細などは公園の掲示板やHPなどでも紹介していますのでご覧ください。

～長坂谷公園第二 工事のお知らせ～

長坂谷公園第二はレストハウス改修工事を行うため、レストハウス及びテニスコートが2021年11月1日から2022年3月31日まで(予定)の間、営業を休止させていただきます。ご利用のお客様にはご迷惑をおかけしますがご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。



長坂谷公園 ☎045-934-5045
指定管理者 緑とコミュニティーグループ
<https://nagasakadanikouen.exblog.jp/>



Vol.19は11月下旬ごろを予定しています。